

平成26年度短期外国出張者報告書簡（第1回）

氏 名	所属庁・官職	派遣先
林 啓 治 郎	大阪地方裁判所 判事	ドイツ マックスプランク研究所
提 出 書 面		
平成27年4月30日付け報告書簡		
報告期間中の日程の概略（平成27年3月30日～4月30日）		
3月30日	ミュンヘン到着	
4月 1日	入居, 住民登録	
7日	マックスプランク研究所での登録, 研究開始	
9日	滞在許可証取得（2日に予約）	
14日	ホフマンアイトレ事務所での研究開始	
20日	連邦特許裁判所での手続傍聴	
22日	The Palace of Justice 訪問	
29日	ヨーロッパ特許庁での手続傍聴	
30日	ミュンヘン地方裁判所での手続傍聴	
キーワード欄		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マックスプランク研究所における研究</li> <li>・ホフマンアイトレ事務所における研究</li> <li>・ドイツ連邦特許裁判所, ミュンヘン地方裁判所, ヨーロッパ特許庁での傍聴</li> <li>・法律事務所主催のセミナーへの参加</li> <li>・生活環境整備</li> </ul>		

平成27年4月30日

最高裁判所事務総局秘書課長 殿

平成26年度短期外国出張者

(ドイツ・マックスプランク研究所)

大阪地方裁判所 判事 林 啓 治 郎

### 報告書簡 (第1回)

平成27年3月30日～4月30日までの研究状況についてご報告申し上げます。

#### 第1 マックスプランク研究所 (Max Planck Institute for Innovation and Competition) での研究

##### 1 登録手続

7日, Ms. Margit Hinkel (Administrative Director) 等に面会し, 登録手続, ノートパソコン使用, 図書館利用について説明を受け, 図書館内の机, ロッカーを割り当ていただく。持ち物として, ノートパソコン, IDカード付与の際のデポジット100ユーロが必要。

##### 2 Directorとの面会

受入受諾書簡をご準備くださったProf. Dr. Josef Drexlerに, 21日, 面会し, ご挨拶。特許法, 著作権法の研究に携わる方々をご紹介くださった。

##### 3 セミナー等への参加

10, 11日, 16th EIPIN Congress (全3日間) の一部を傍聴。EIPINとは, MIPLC (Munich Intellectual Property Law Center) が他国の大学と提携する European Intellectual Property Institutes Networkの略称。教授による講演と, 学生の各グループによる質疑応答。

21日, Mr. Alexander Clellandの講演「Computer-Implemented Inventions in Europe」に参加。

## 第2 ホフマンアイトレ事務所 (Hoffmann Eitle) での研究

14日, 訪問し, Dr. Dirk Schüssler-Langeheineにご挨拶。弁護士, 弁理士, 事務員の紹介を受ける。

23日まで, 過去の特許権非侵害確認訴訟の裁判記録を検討。

24日からEPOの記録検討を開始し, 29日, Dr. Matthias Kindler等に同行し, Board of Appealの手続を傍聴。

## 第3 裁判手続の傍聴等

### 1 連邦特許裁判所 (Federal Patent Court)

20日に訪問。抗告部の手続を傍聴した後 (裁判官の説得により取下げ), 技術系裁判官であるDr. Andrea Münzbergより, 連邦特許裁判所の執務の概要につき, 説明を受ける。

### 2 The Palace of Justice in Munich

22日に訪問。Landgericht München1の裁判官Dr. Oliver Schönにご挨拶。ドイツ司法制度につきご説明いただく。

### 3 ミュンヘン地方裁判所 (Landgericht München1)

28日, 裁判長Dr. Matthias Zigannにご挨拶。ミュンヘン地裁の審理のご説明, 陪席裁判官のご紹介を受ける。

30日, 早期口頭弁論を傍聴 (ライセンス契約締結による和解の可否, クレーム解釈を議論)。主要口頭弁論は9月17日の予定。

## 第4 法律事務所訪問

### 1 Boehmert&Boehmert

15日, Dr. Heinz Goddar等に面会。

### 2 Meissner Bolte

16日, Dr. Eugen Popp等に面会。

第5 法律事務所主催のセミナーへの参加（日にち、法律事務所、講師、演題を列挙）

- 1 9日, Winter・Brandl・Fürniss・Hübner・Röss・Kaiser・Polte, Simon Angermeierほか, Selected case law on restrictions of the scope of equivalence
- 2 27日, TBK, Herbert Albert Jörg Preuß, Latest Development in the practice of Examination proceedings for German and European Proceedings
- 3 28日, Bardehle Pagenberg, Dr. Cristof Karl, Pre-Litigation Activities  
（冒頭の約30分まで参加）
- 4 30日, Hoffmann Eitle, Dr. Clemens Steins, Recent Decisions on Claim Construction by German Courts

第6 生活環境整備

1 住居

地下鉄最寄り駅はMax-Weber-Pl.。地下鉄、トラムが複数本通っており、便利。

2 少し不便だったこと等

入居時に渡された玄関の鍵のうちの1本が違っており、立ち往生となった（1日）。

外国人局にて滞在許可を取得しようとしたところ、学生扱いなのか、プロフェッショナル扱いなのか、担当者が把握できず、午前中たらい回しにされ、やっと1週間後の予約の手続が済んだ（2日。なお、9日の手続は短時間で済んだ。）。

子らの声が大きい、と階下の住人から控えめに注意を受けた（17日）。

日本からの荷物が差し止められ、税関まで受け取りに行った（17日）。

第7 その他

おかげ様で、家族共々、元気にすごしています。

今後とも、皆様より、ご指導とご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

以上